

双ヶ丘中だより



京都市立双ヶ丘中学校 1/31 第16号 文責 上田

学校教育目標 「探究心を持って未来を創造し、心豊かにたくましく生き抜く生徒の育成」

感染症防止対策の徹底をお願いします。

先週、本校でも新型コロナウイルス感染者が確認され、2クラスで学級閉鎖を行いました。さらに校区内の小学校においても学級閉鎖が行われており、さらなる感染拡大を心配しています。京都府をはじめ、各地で新型コロナウイルス感染拡大防止に向けて、まん延防止等重点措置が発出されていますが、その間も感染が拡大しており、連日感染者数が過去最多の報道が聞かれます。まだまだ厳しい制限がある中での生活ですが、今一度感染防止対策を意識してください。

特に3年生は、受験を控え大切な時期です。朝晩の検温（健康観察票に記入）、学校生活では常にマスクの着用、こまめな手洗いや消毒、換気、3密を避けるなどの行動を徹底してください。また、少しでも体調が悪い場合は、無理をせず自宅で休養するようしてください。

教育委員会より、学級閉鎖を行っている生徒の兄弟姉妹においても、疫学調査の結果が判明するまでは、登校・外出を控えていただくようにお願いしています。感染拡大を防止するための対策としてご理解、ご協力をよろしくお願ひいたします。

3年生進路実現に向けて

2月に入ると、高校入試が本格的に始まります。京都の私立高校は10日・11日に、また公立高校の前期は16日・17日に試験が行われます。残り10日ほどは、試験に対して、さらにコロナ感染に対しても不安になると思いますが、試験に向けてまずは体調を整えることが大事です。そのために睡眠をしっかりとること、朝食をしっかりとること、また試験の時間に合わせるように生活リズムを朝型にすることなどが考えられます。自分で対策を考え、試験に平常心で臨めるように準備しておいてください。



「しなやかな道徳」教育研究について

道徳の時間が、学習指導要領の一部改訂により3年前に「特別の教科 道徳」となり「考え、議論する道徳」への転換を図り、道徳的な課題を一人一人の生徒が自分自身の課題としてとらえ、向き合うことができる授業を目指し、授業改善を進めてきましたが、「議論というよりは対話をする」という状況でした。そこで、研究指定を受け①カリキュラムマネジメントをもとに、教科の特性を生かし、学校全体で進める道徳教育の取組 ②考え、議論する道徳の推進を研究の柱とし、主題を「様々な道徳課題を自分事としてとらえ、考え、議論する道徳教育の実践」として令和2・3年度京都市教育委員会指定で、「しなやかな道徳」教育研究を進めてまいりました。

先日の28日に研究発表会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染の影響で残念ながら中止とさせていただきました。この2年間はコロナ禍で十分な実践ができていないと思います。これからも今回の研究を学校として継続してまいりますので、今後ともご指導・ご支援をよろしくお願ひいたします。

新しいALTの先生が着任されました。

3学期より、前任のロバート先生に代り、レミース・リサ先生が着任されました。ご出身は、カリブ海にあるバルバドスという島国です。京都に来られて、先日の大雪の時に、初めて雪を見ましたと、スマートフォンで写真を撮っておられました。

（裏面に2月の行事予定をのせております。ご覧ください。）*コロナの状況により、変更する場合があります。